日刊 昭和21年6月1日 第三種郵便物認可（1）（除月曜）
昭和24年2月23日 運輸省特別扱承認第283号
いわき民報 夕刊 昭和28年4月22日（水曜日） 第2126号
夕刊 いわき民報
発行所 平市田町48 電381 1222
いわき民報社 印刷兼発行人 田原登 編集

大和田あと一押し

地元出身者を落すな

石城自由黨 結束して支援

いよいよ廿四日の參議院議員選挙を目前にして各派は最後の追込みに戦を展開している、目下の情勢では地方区定員二名に対して、自由党の石原幹市郎氏は何といつても優勢で当選圏内に入つているものと見られ、また一面票を取り過ぎるという観測もある程である問題は石城の田畑政光氏と石城郡選挙区（区長金枝友作氏）では去る十七年八月十八日から今年四月十七日までの連續三千八百九十六日間（約十カ年七カ月）管内の検車輛運転の無事故を記録し二十二日山田水鉄局長から歸く金杯副賞を受けることになつた、管内は常磐線（勿来―亘理間、磐越平―

井村出身の自由党大和田弥一氏の決戦となるものと見られている、田畑氏は県下の衆院選の状況から見て組織を背景に有力視されて居り、大和田候補は前副知事で県下によく知られてはいるが、石原候補に蚕食されて当落線上をほうこうしている有様のようである、自由党県支部としては二名全滅の方針のもとに極力、石原、大和田の当選を期しているが、問題は前述の通りなので石城自由党として一致結束大和田を支持するならば二人の全滅は期し得られると信じ〝石城地区は大和田一本で当選を期せ…〟と叫び、大和田候補の事務長遠沼龍輔県会議長初め石城県議団は挙げて大和田を支持することになつた、大和田候補の宣伝車は廿二日午後二時頃来平し、衆院に当選した関内代議士初め県会議員一同乗り込んでこの苦戦状況を知らせ全面的に支援することになつたが、今一押しという際だい背戸際に立つて居るので〝大和田を落すな〟の声は関内代議士の場合と同様全郡下に漲き上つて来た

（写真は大和田候補）

平客貨車區に金杯

十年間無事故で表彰

平客貨車区（区長金枝友作氏）では去る十七年八月十八日から今年四月十七日までの連續三千八百九十六日間（約十カ年七カ月）管内の検車輛運転の無事故を記録し二十二日山田水鉄局長から歸く金杯副賞を受けることになつた、管内は常磐線（勿来―亘理間、磐越平―小川間で期間中に修理検車輛の取扱い数は三十一万六千四百四十八輛（貨車三十一万三千七十五輛、客車三千三百七十三輛）で国鉄の所有する約十万台の三倍を取扱つたことになる

植田驛でも

植田駅（駅長後藤惣田氏）では去る二十年一月二十二日から今年四月二十一日までの八年間運転無事故の好成績をおさめ二十二日山田水鉄局長から金杯副賞を受ける、今度で五度目の無事故表彰である

イルカの大物水揚げ

半月早く 今後も續く模様

十九日夕刻小名浜魚市場に一尾約二十貫もあるイルカが約二百尾、三十二百貫が水揚げされた、これは地元の旋網漁船が小名浜沖合で獲つたもので貫当り約百円で取引きされ県内と茨城方面へ出荷したイルカ群は小名浜沖から茨城沖合にかけて群がつているので今後水揚げが續く模様、なお水揚げ期からみて今度の多收獲記録は昨年と比べ約半月位早い

溶接士などの講習會開く

廿四日から

平労基署では管内のボイラーマンとアセチレン熔接士の再教育講習会を四月廿四日から平市福祉事務所で五月一日から一カ月間赤十字の〝白い羽根〟募金を実施するので二十一日午後一時からその打合会を開いた、募金目標は三十万枚の白い羽根で三十一万円となつている

四月園碁例會

平將棋碁衆会四月囲碁会は十九日会を次の日程で開く、参衆者は二十二年一月二十二日から今年四月二十一日までの八年間運転無事故の好成績をおさめ二十二日山田水鉄局長から金杯副賞を受ける、問題は前述の通りなので石城自由党として一致結束大和田を支持するならば二人の全滅は期し得られると信じ〝石城地区は大和田一本で当選を期せ…〟と叫び、大和田候補の事務長遠沼龍輔県会議長初め石城県議団は挙げて大和田を支持することになつた、大和田候補の宣伝車は廿二日午後二時頃来平し、衆院に当選した関内代議士初め県会議員一同乗り込んでこの苦戦状況を知らせ全面的に支援することになつたが、今一押しという際だい背戸際に立つて居るので〝大和田を落すな〟の声は関内代議士の場合と同様全郡下に漲き上つて来た

（写真は大和田候補）

平客貨車區に金杯

十年間無事故で表彰

平客貨車区（区長金枝友作氏）では去る十七年八月十八日から今年四月十七日までの連續三千八百九十六日間（約十カ年七カ月）管内の検車輛運転の無事故を記録し二十二日山田水鉄局長から歸く金杯副賞を受けることになつた、管内は常磐線（勿来―亘理間、磐越平―小川間で期間中に修理検車輛の取扱い数は三十一万六千四百四十八輛（貨車三十一万三千七十五輛、客車三千三百七十三輛）で国鉄の所有する約十万台の三倍を取扱つたことになる

植田驛でも

植田駅（駅長後藤惣田氏）では去る二十年一月二十二日から今年四月二十一日までの八年間運転無事故の好成績をおさめ二十二日山田水鉄局長から金杯副賞を受ける、今度で五度目の無事故表彰である

イルカの大物水揚げ

半月早く 今後も續く模様

十九日夕刻小名浜魚市場に一尾約二十貫もあるイルカが約二百尾、三十二百貫が水揚げされた、これは地元の旋網漁船が小名浜沖合で獲つたもので貫当り約百円で取引きされ県内と茨城方面へ出荷したイルカ群は小名浜沖から茨城沖合にかけて群がつているので今後水揚げが續く模様、なお水揚げ期からみて今度の多收獲記録は昨年と比べ約半月位早い

溶接士などの講習會開く

廿四日から

平労基署では管内のボイラーマンとアセチレン熔接士の再教育講習会を四月廿四日から平市福祉事務所で五月一日から一カ月間赤十字の〝白い羽根〟募金を実施するので二十一日午後一時からその打合会を開いた、募金目標は三十万枚の白い羽根で三十一万円となつている

四月園碁例會

平將棋碁衆会四月囲碁会は十九日

今度は〝白い羽根〟運動

來月から 目標卅一萬圓

丹後澤に初夏

桜まつりも予り旧城跡丹後沢のボートに興ずる人がめだつて多くなつて来た、澄み切つた大空にふんわりと二片の白鷺が浮び、ぬるんで来た水面にやわらかな影を落とす一岸の桜はすつかり散り果て、緑桜となりさわやかな南風にゆれている、なら、くぬぎの新芽もようやくもえ初めてオール握るひとびとの目を楽しませ悩趣を添えている、十隻ある舟が間に合わないほどお客さんが来ますとはボート屋の弁、春の美しいセーターに彩られた軽い服装で巧みにオールを操つては半円の〆錯した水模様を描き立し軽快にボートを進めてゆく、船生訓子の九氏を新部員に決定、

來月から 部報發行

湯本公民舘

湯本町公民舘の図書部会は二十日午後六時半から開き新年度役員の改選を行い部長商出総、副部長源岡賢郎二氏を選任の後町民から応募のあつた藤岡与八郎、高橋悦、中里昭太郎、渡辺藤一、米倉紀男、神林道夫、江川光男、小林富雄、の九氏を新部員に決定、

一級酒に十六點認定

平税務署管内における二十七酒造年度生産清酒の第二回審査会で一級酒に認定されたものは次の十六点で第一回六点よりぐつと増えている、カツコ内は酒造工場

▼近盛（居自）▼小錦（飴喜）▼白馬の雫（松本）▼清世界（清水屋）▼盤城桜（長瀬）▼鶴仙（松吉屋）▼松の友（豊田）▼清盛（矢吹）▼福美（四家）▼伊勢盛（近藤）▼竹仙（大竹）▼太平（大平正）

教員互助會設立打合會

廿三日開く

教委石城出張所では管内小中高校長及び会計主任を集めて二十三日午前十時から平二小で県教職員互助会設立打合会を開く、同会は県下教職員の相互共済及び福利増進を図り安心して教職の重要責を全うすることが出来るようにするのが目的で県教委から二十八年度補助金として二千三百万円を交付されている、主な事業は医療補助金、死亡弔慰金、災害見舞金、退職金出産見舞金、結婚祝金などを支給するもので教職員の喜びは大きい

不良化防止演藝大會

内郷町で

内郷町では不良化防止演芸大会を次の日程で毎日午後六時から開く

▼二十四日 白水川平分舘▼二十六日 高坂小講堂▼二十七日 御厩小講堂▼二十八日 町議佐川氏宅

人事往來

▼平二中校長亀野信郎氏はこのほど着任

▼教委石城出張所主事高木百枝、吉田切の両氏着任

▼片倉製糸総務課長金田正氏は山形蚕種製造所へ栄転廿二日午前十時発赴任、後任は藤井美氏着任また会計主任松島幾造氏も着任

天気予報

廿一日

【今晩】北よりの風晴時々曇り一時しぐれ模様

【明日】西の風晴一時曇、海上今晩明日とも西風が時々強く風波がある、明晩ごろはおさまり明後日は晴か

部落舘の總會

内郷町綴第五部落舘では二十日午後六時から同舘に総会を開き二十八年度運営方針並びに行事計画につき協議した、新主任は斎藤止夫氏

なお併診旅行を五月一日から一週次、金の両日実施するほか部報創刊号を五月一日発刊することになり散会した

室外貸出も

金坂青年會

内郷町金坂青年会（会長佐藤信一氏）では昨年十一月町内の文化の向上を図るため会員出資で金坂消防団詰所に図書室を開設したが、当時三百冊だつた蔵書が現在では千冊を超えたので近く室外貸出を行うことになり町民から喜ばれている、開室は土、日の両日行つており小中学生が利用者の八十%を占めている、なお同会では自発で挙仕的に経営しているため新刊購入まで手が廻らないので町公民舘に補助金を申請し積極的な活動を展開することになつている

訂正

二十一日附公売公告中「（又は競売）」を除きます 平税務署

ラジオ月賦

六カ月 十二カ月

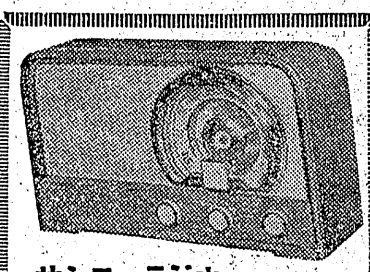
平市二丁目 日東商会

日本製鋼所の技術です！
PINE パインミシン
石川ミシン商會 平市二丁目電1232

特賞30万円が 洋全一本で当る！
洋全まつり
4月1日から 4月30日まで
平指定商のチケットを御利用下さい
小松履物店 平和通り電 573
小松履物店 大通り電1439
仙台屋履物店 中央通り電 547

家具一式
毎度有難う御座居ます
自家製造元の家具専門店
只今特賣中で御座居ます
ゼヒ當店を御利用下さい
御婚禮家具
事務用家具
夏家具
蠅張冷藏庫
その他諸器
平指定商チケット御利用下さい
和洋家具 硝器雑貨
伊東家具店
電話四六四（ヨロシン）番
営業所 平市新川町 工場 平市大工町二九一三〇

洋食 江戸前壽司
日本料理 麺類
▽…贈上日本間は御会合、社交、御家族連れに御利用下さいませ
大衆食堂 有樂
平市映楽館隣



サンヨーラジオ
6球スーパーマジツクアイ付
正価 14800円
10カ月賦
一流メーカー品
不明の点は御来店下さい
鈴木ラジオ商會
平市平館前（電389）

大好評の…
アサヒ生ビール
平市本町裏通り電七二三 大衆食堂 なじみ

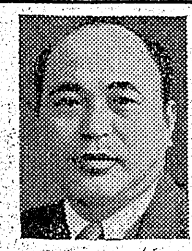
小宅キヨ

�子病気療養中の処四月二十日午前十時二十分永眠致しました、悠に生前の御厚誼を深謝し謹んで御知らせ致します
追つて告別式は四月二十三日午後二時植田町本町寒宅に於て営みます
なお埋葬式は四月二十六日午後二時植田町本町寒宅に於て仏式により執行致します
昭和二十八年四月二十一日
（居宅）平市大町二〇
（喪宅）植田町本町五九
夫 小宅嘉久治
長男 嘉将
男 文一
男 節
外 同
親戚一同

日刊　1カ月金100円郵送126円（週2回四頁建）
（除月曜）定価一部（二頁）3円（四頁）6円
（第三種郵便物認可）
いわき民報
夕刊　昭和28年4月22日（水曜日）第2126号　（2）

松本町長の就任で湯本町面目一新

過去四年間の輝やく業績



湯本町の町長選挙は来る五月下旬ごろ執行されるがこの選挙をめぐり二、三の出馬が予想されている現職松本町長は去る二十四年四月行われた町長選挙に無競争で公選町長に選任された人物だけに既に声名が高く立候補を期待されている、松本氏の過去四カ年間の業績はめざましいものがあり東北一を誇る近代的建築である公民館を始めとして町内くまなく舗装されたアスファルト道路並びに側溝観光道路並びに街燈灯、コンクリート橋などで美装され昔日の面影を全く一新躍進湯本町の面目を示し現在松本氏は郡町村会長、県町村会理事など幾多の要職を兼ね将来を嘱望されている（写真は松本町長）

松本氏は旅順工大卒業後長く同校に講師としてとどまりその後満洲国官吏として鉱山行政を司り、次いで満洲興業開発会社に招聘され製錬所の次長に抜擢され終戦後生れ故郷の湯本町の土を踏んだ人で東部石炭協会技術員教習所長を振出に二十四年四月町長となり爾来政治家、学者、炭鉱技術の第一人者として有名をはせてきたが、次期選挙に於いても再選の声が高い因みに松本氏の過去四カ年間に於ける主なる業績をあげてみると

【都市計畫事業】

▼湯本江名線（鹿島坑）県道新設▼水野谷関船天平川改修▼下浅貝鹿島坑線道路及びトンネル新設▼八仙上浅貝消路新設▼大号国道三五〇〇米舗装及び町内のアスファルト道路舗装▼湯本磐崎村小野田線道路新設▼小名浜県道高橋、関船上橋、八仙橋天神橋、日渡橋、水野谷橋コンクリート架橋▼町内観光街灯建設▼全町内側溝▼衛生モデル地区設定

【失業對策事業】

▼第二中学校々庭整備▼湯本石川線湯本小野田線、湯本江名線等道路工事継続中

【住宅關係】

▼公営住宅十五戸▼町営住宅六戸

【教育施設】

▼第一、二中校舎増設▼公民館建設▼一小講堂増設▼二中体育館、湯岡体育館建設▼三小遊設開始

【消防施設装備】

▼消防団員被服装備▼常備消防部及び第七分団新設▼自動車ポンプ一台、ガソリンポンプ一台購入▼消火バツク二十カ所設置▼用水溜池改修▼第四分団鉄骨火見楼新設

【その他】

▼湯本町観光協会、信用組合設立なお郡町村会長としては▼磐城県立病院増設及び事業拡張経営▼磐岡復興後援▼平保健所、植田保健所、福島県盲聾学校平分校等各種県立学校事業所建設協賛など多彩多岐で枚挙にいとまがなく松本氏は政治的な良心と技術的な才腕を高く評価されており常磐地区産業道路、磐城地方水利開発、平小鉄道敷設など重大な事業が山積しているので再出馬を強く要望されている

四戸六世帯を焼く

田人村の火事　損害五百萬圓

二十日午前十一時二十分頃田人村大字黒田字瀬戸尻三一農小宅茂市さん（ご）宅から発火し隣家四戸六世帯を全焼した、損害五百万円、原因は茂市さんの孫が納屋で火遊びしたため、類焼者は

小宅茂市（ご）小宅武夫（ご）小玉吉蔵（茂市方同居人）李永鎬（ご）小宅幸方同居人

財布をすらる

湯本町天王崎四〇無職長谷川しめさん（ご）は二十日午前十一時半ごろ常磐線上り四二五列車に乗車湯本ー平間進行中現金七百三十円在中の財布をスラれた

一齊檢便

あす湯本で

湯本町では二十二日午前十時から公民館ホールで昨年度に発生した赤痢患者並びに家族八十名の第二回一齊検便を行う

繪死二件

◇植田町字林内三〇料理人（コツク）武田良吉さんの妻キワさん（ご）は二十一日午前二時過ぎ自宅六畳間の梁に縄をかけ絵死を遂げた原因はキワさんは一カ年前から病に犯かされ医師の診療を受けていたが癒らず一週間前永井医院に入院し手術を施すことになつていたがキワさんは勝手に入院室を飛び出し自宅に帰り、夫と実母宛に長い間看護してくれて感謝に堪えない、何せ長生きは出来ない身で此の上心配をかけてはすみませんと云う意味の遺書を残して覚悟の自殺を遂げたもの

◇入遠野村上根本字玉田四三番地農上遠野林さん妻キヌさん（ご）は二十日午前六時頃自宅納戸の柱に細紐をかけ絵死を遂げた、原因は産後の肥立ちが悪くこれを悩んでの厭世自殺らしい

車中で盗難

平市杉平九会社員矢野徹雄さん（ご）は三十日夜八時半ごろ磐越線上り五二〇列車内で仮眠中、書類、洗面用具入れの鞄一個（二千円相当）を盗まれた

ゴミ箱五十を設置

湯本町では環境衛生のため去る二月町内各所にコンクリート製のゴミ箱百個を設置したが、二十五日予算十万円で環境の悪いところを選び五十個設置することになつた

音樂大學オペラ部

廿五日湯本で公演

国立音楽大学オペラ部では二十五日午後一時半から湯本商校講堂同六時半から湯本町公民館でオペレツタ〝コルヌヴイルの鐘〟の第三回公演を行う、主催は湯本町公民館でスタツフは次の通り

▼作曲ブランケツト▼訳詩清水金太郎▼脚色清水静子▼演出同小学校の竣工式を現場で行つた、工費一千八百八十二万円、建坪七百二十四坪、小野田線請負、総二階で十四教室、校長室、事務室のほか裁縫室、理科室、音楽室、放内郷町では二十日午後二時から綴

綴小起工式

養蠶の電化へ

講話と映畫

石城地方事務所では東北電力、片倉製糸と共催で蚕蛾の電化に関する講話と映画の会を開く、入場無料で日程とプロ次の通り

▼二十一日午後六時下小川関場分校▼二十二日午前九時久遠野役場前片倉方▼同午後一時上遠野劇場▼同午後六時山田大津公民館▼二十三日午前九時川部産業技術普及所▼同午後二時田人小▼二十四日午後一時赤井産業技術指導所、プログラム＝▼稚蚕の飼育について▼体験談▼映画、蚕蛾電灯、稲の二化めい虫、伸びゆく東北電力、毋蛾、森の石松

拾得爆彈の處理方決る

江名町折戸五七吉田マスさん所有民家船興福丸（三四㌧）が去る十一日塩屋崎三十マイル沖合で拾得した米国製四十㍉爆弾一個は小名浜地区警備部補派出所に保管中だがこれを調査するため十六日朝磐上警備隊MS艇が小名浜に入港した、調べによるとこの爆弾は非常に危険性があるので早速同艇で引き取り処理することになつた

拾得物

（22日）

▽ズボーツ福島後・豆子どもの時間　春の遠足後・豆芸能クラブ　歌曲

オフセット印刷

半裁オフセット印刷機設備完了しました

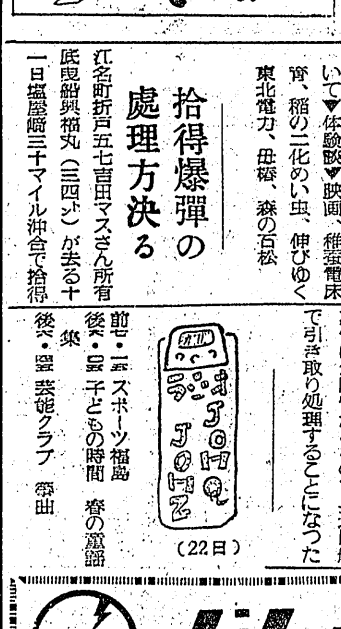
ポスター
包装紙
株券
広告ビラ
レツテル
レベル
パンフレツト
その他
色彩印刷物一般

電話（植田）68番へお気軽に御照会下さい

植田町合町33　電68

植田印刷所

焼肉神田　8時間　秋葉　TEL 1092 三丁目

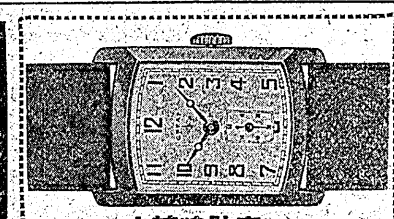


ナショナル　ナショナル
電球　螢光灯　乾電池及ケース
発電ランプ　アイロン　配線器具
硝子セード　類の御仕入は是非弊社へ
ナショナル／サンヨー　金製品代理店　平市1の47電636
田村無線電機株式會社

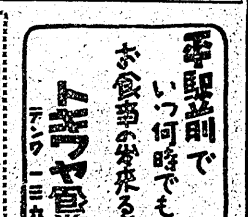
放射線・内科　谷口医院　平市電一〇六五

眼鏡専門　各眼科医指定　玉屋　平市二丁目電910

金水



時計　眼鏡　山崎時計店　平5電991



季節前でいつ何時でもお食事の出来る店　トヨワヤ食堂　デンワ一三九〇

たつた一度の演説で即席當選　藤越　小名浜　平市

急死した候補者の奥さんが一回の演説で当選（岩野県）したのは、同情票という名の浮動票のお蔭ですが、藤越では浮動票のお客様を固定のおとくい様にすべく毎日全力を打ち込んでいます。

●ナイロン靴下　二八〇円
●タオル寝巻　四八〇円
●純毛トロピカル八二〇円

★女店員　数名（中卒程度廿才前後）委細面談
★レジスター係一名（高女卒程度）
平市ひかり劇前　フラジル

看護婦数名募集　十八ー二十五才　委細面談　医療法人　櫛田病院　植田町番所下　電話三〇二番

○看護婦急派の御用命に応じます。
○家政婦も御利用の程を。　平市南町
○電話307番。　平看護婦家政婦急募致します。
○派出多忙につき看護婦家政婦急募致します。　幹旋所

新学期
昔なつかしい金ペン時代となりました
K14金ペン付景品付売出し
◇…御選択は専門店へ！

平専門店会員の店　岡萬年筆店　平市三丁目中央通　電三九九

外科　内科
婦人科
歯科
整形外科
胃腸科
性病科
放射線科
医療法人　松村病院　院長　松村大田耕亨
平市南町二三三　電話一〇七番（平駅より大通り真直ぐ約二丁）

募集
▼女子事務員一名
▼レントゲン助手一名（男子中卒）
放射線科　新妻　松村　河島　清
薬剤師　菊池　政次　本臨　治夫　作作